

## 【資料編】事業者用アンケート\_\_記述回答集計結果

全応答人数 116 (名)

**Q14** : 原村は、茅野市、富士見町とともに 2021 年 12 月に八ヶ岳西麓豊かな自然環境と共生する未来に向けた共同宣言を行い、現在、3 市町村で地球温暖化対策の分野においても協議を行っている状況です。3 市町村で進めていく取組みに期待することなどがあれば、お聞かせください。

応答 37 (有効 35)

回答内容
太陽光などの人工設備と自然環境、景観の両立は難しい課題だと思います。現森林は近年の異常気象（台風や豪雨、豪雪）には非常に弱く、倒木などの被害が毎年発生しており、特に上の別荘地の住民の生活に支障をきたしています。人工的に植えたアカマツ、カラマツの森から、比較的危険性の低い広葉樹へ切り替えていくように、役場の立場からのご賛同いただき、積極的に呼びかけしていただきたいと思います。倒木が放置されているところも多くみられ、景観を損ねているので、一度リセットする時期かと思います。その先に本当の共生する未来があると思います。是非、真剣にご検討ください。
野立て型太陽光発電を実質認めない共同宣言になってしまっている。景観を阻害しない場所でも反対されれば不可能であり、脱炭素と逆行した取り組みとなっていると感じる。自然環境と共生していくには再生可能エネルギーを他地域に押し付けず、地元で生み出すことも必要だと思います。
再生可能エネルギーで発電した電気の使用を進める。景観を守りながら、営農ソーラーの拡充を進める。村として、エネルギー自給を目指す計画の立案と対策を進める。住民に対し、太陽光発電や太陽熱発電の機器購入への補助金政策を進める。
何らかの利益に伴う仮説・言説等に惑わされることなく、過去の世界の状態は果たしてどうだったのかを冷静に客観的に捉えた上で、深く深くふかかく考えて、未来についての目標を立てていただきたい。
原村単体では、できることや人とお金のリソースにも限界があるので、今後は近隣自治体と地域資源の活用により一層連携してほしい。
通り一遍の事業であってはならない。やるからには本腰を入れ、国内外から注目され、実績が認められる事業でなくてはならない。
断熱効果を知ってもらい、寒い家から住心地の良い家へのリフォームを促進、温暖化対策は生活水準を高める。農地の土壌診断。
自然豊かな八ヶ岳を守りながら、日本が注目する一歩先を行った、全村民が力を合わせて取り組む村になっていって欲しい！！
少し後ろ向きな宣言だと捉えています。特に具体的な事業や成果が見えません。もう少し踏み込んだ施策をお願いします。
異った行政における協議は時間がかかる。カーボンニュートラルは議題スピード感を以って進めてもらいたい。
広域協議は必要であるが、気がつくると合併協議にすり変わる事のない様、全体の調整をきちんと進めて欲しい。
フィルムタイプの太陽光パネルが発売されるとのことですから検討してみられたら・・・と思っています。
農業用パイプハウスの被膜を利用した太陽発電が研究されているのでこれを普及してほしい。
屋根置き、野立て太陽光発電は、設置を望みません。廃棄する時の問題が大きすぎる。
自然環境と人々の暮らしについての声が広く出され対話される場の創出。
緑をなくしてソーラ設置などは反対です。両立する方法を探るべき。
地域一体とした連携による、物流、交通、エネルギー、産業の連携。
緑豊かな自然を守り続けて欲しい。災害に強い植林をして欲しい。
長期的に有効で効果的で継続可能な方法に基づいた取り組み。

豊かで美しい里山や、原風景を残すことと、経済活動の両立。
森林の間引き・雑草の草刈り。自然がきれいな村づくりを。
森林の間引き。雑草の草刈り。自然がきれいな村づくり。
農業と観光両輪でバランスの取れた村運営を希望します。
観光用の交通網の整備。EV車による観光者の送迎。
のびすぎた赤松、から松を伐採して広葉樹を植える。
災害時、発生時における協力体制及び態勢の強化。
野立て太陽光発電設備の規制。厳しい基準。
自然・景観を壊さない様に進めて望ましい。
太陽光発電は取り止め、景観を大切に。
住生活と自然の環境のバランス。
現在考えているところです。
美しい森を守ってほしい。
農業支援。省エネ教育。
個々の意識を高める。
市町村合併

**Q15**：原村では、地球温暖化対策について様々な地域課題との同時解決が可能と考えています。地球温暖化の影響のみにとどまらず、現状地域において課題だと感じていることをお聞かせください。  
(自然、景観(ゴミ)、温暖化による暮らしの変化、観光、農業、林業、交通、防災、福祉等)

応答 46 (有効 46)

回答内容
森林整備について、以前は間伐代の村民への配布事業がありました。間伐材が放置され腐っていくとCO2を出し、燃やしたCO2とイコールだと考えれば、村民が薪ストーブで利用するのは立派なCO2削減です。森林保全は、登山者や観光客に喜ばれるだけでなく、災害予防や水資源確保にも有用で、ひいては農業にも好循環を与えるでしょう。また、公共交通の改善はCO2を削減するだけでなく、登山者や観光客、特にインバウンド客の誘致に繋がります。こういう点が『同時解決』ではないですか？
気温の上昇により、農作物の生育に影響が出始めているのではないかと思います。営農ソーラーの設置により、畑の上に太陽光パネルを設置することで、遮熱や遮光の効果も得られることから、電気の自給と農作物を守ることの2つが実現できると考えられます。国の補助金などもあるので、景観を守りつつ、営農ソーラーを推進していくことが、今後日本が進むべき脱炭素社会への実現に近づけるのではないかと思います。近隣では、すでに野辺山地区で営農ソーラーが始まっているようです。
森林の保護は漁業にも大きな影響を与える、大変重要な原村の使命だと思う。森林を伐採してのソーラー設置は目先のエネルギー獲得はできて大きな温暖化因子となるため森林を保護できるエネルギー対策でなければならないと思う。
温暖化対策の美名のもとに行われる様々な施策が、本当に原村数千人と鹿その他数百頭余にとって必要であることなのかを考える習慣を持つことが、原村に住む人間としての一つの課題かと思う。
「伐採届け」提出、受理後の届け出内容と異なる荒っぽい違反行為の見逃しをしている現状。人口をこれ以上増やすべき？(移住促進?) 東側の山側の環境整備(上下水など)
Q14と同じで温暖化対策として効果がある。再生エネルギー普及は村としてする事で観光や移住促進につながる。農地への農薬使用が及ぼす影響。

ペンション及びガーデニングからキッチンガーデンに変換。自然型有機農業への転換。農薬、林業、自然の美しさを観光の柱にする。
灯油やガソリンの高騰を考えると、まずは個別に出来ることを考える時。省エネ・ゴミ減業等やれることから徹底するべき。
国道から諏訪南インターへの道路にゴミが散乱していることが多々あり、片付けた後もすぐに捨てられる事が悲しいです。
道の整備新しい教育のスタイルエコラインで隔つ事のない村民の協力役場の体制変化教師、介護士、などの不満解消。
・さらなる環境保全活動の推進と共に防災のための整備・自然災害に備えた訓練及びコミュニティ内の繋がり強化。
弊社事業含めて、高齢化が進み雇用情勢は危機的な状況にある。もっと若い定住者を増やす取り組みをして欲しい。
倒木の被害が甚大。人工的に植樹されたアカマツ、カラマツの伐採の推進。広葉樹の植樹への補助、呼びかけ。
温暖化の問題は地球全体の問題とは思いますが、原村は変わらないと思う。村全体では良く頑張っていると思う。
電柱や電線に接触する可能性のある樹木の処理。主要道路の一体的な補修。高齢化対策、空き家対策。
色々欲張っても仕方ないこと。まずは化石燃料の使用を減らすこと、なくすことをやってから。
森林伐採（家等を建築後）の%を守らせ、伐採後に樹木を植林する条件をきちんと守らせる。
美しい村に基づく、産業活性化、教育、サービスを連携させたビジョンに基づく政策策定。
県外からの流入人口がある為、村内の活動を県外からの人口に対する協力が必要と考える。
原村の地球温暖化の影響は、具体的に何が出来ますか？早急な対策、対応は必要ですか？
観光客・別荘の方のゴミ。ルールを守らない方が多いので徹底して欲しい。(不法投棄)
村内には古い建物が多く、窓や壁の断熱能力が冬の寒さに比べて圧倒的に不足している。
ゴミの分別・減量。林業・森林の整備（倒木がそのまま状態）自然・景観によくない。
有機農業の活性化。人口減少対策。子育て世代の支援。高齢者への福祉の充実。
公共の交通体系を見直し、生活や仕事の移動にあわせた対策を考えて欲しい。
県道・村道への植林を増加する（熱中病対策・村全体の温度低下）
自然環境との共生観光・農業・林業への対策防災対策。
自然素材で建てる家を増やす。豊かな農村への推進。
農業跡継ぎ不足。無駄な開発や建築（山の方の地区）
八ヶ岳の自然の中での良さを強力に打ち出す様に。
都市計画の推進による保健休養地への居住制限。
村内にエコカーレンタルを出来るようにする。
新築住宅による森林伐採、空き家活用の促進。
メイン通りの道路痛みや泥による道路の汚濁。
倒木対策、下草刈りなど森林の手入れ。
観光客の誘致、アクセス道路の整備。
ソーラーパネル等撤去してほしい。
私有地の開発による自然環境破壊。
外来植物の繁茂。公害の抑制。
災害時の高齢者の安全対策。
温暖化が一番心配です。
自然環境の保全が第一。
無農薬・脱化学肥料。
森林を残していこう！

ゴミ問題と路整備。

自然を大切に。

【削除記載】※空欄回答と見なす

削除回答なし

## Q17：原村の地球温暖化対策・エネルギー政策への提案など、ご意見があればお聞かせください。

応答 33（有効 32）

回答内容
トヨタも発表していたが、電気自動車は作るための材料を採取する?車を作る?車を廃棄するまでのサイクルでガソリン車よりも環境負担が大きいので、電気自動車だからといって盲目的に「環境にいい」と言うのは勉強不足。また、電気自動車を走らせるために火力発電所で発電している。石油で発電するか、エンジンを動かすかの違いだけで、環境にやさしいはまやかし。カーボンゼロや温暖化対策という言葉だけで踊らされずしっかりとエビデンスや、他方向から見たデータなどもしっかりと勉強した上で行政を進めてもらいたい。日本の二酸化炭素排出量は世界のわずか3%、国民一人当たりの排出量は15位にも入っていない日本が、原村のような小さな自治体まで税金を使って必死に取り組む必要があるのかよく考えるべき。温暖化対策という錦の御旗を掲げるだけでよく考えもせず税金を無駄使いするのはやめてもらいたい。
八ヶ岳の豊かな森林資源を活用してほしい。以前あった村有林間伐材配布事業は画期的で、他の市町村から羨ましがられていました。是非復活してほしい。同様に、村役場にあるEV充電スポットや廃油プラントは、先進的な取り組みだったのに、ほとんど止めてしまいました。それらを検証して復活させることから始めませんか？
正しい情報を住民に理解できよう解り易く、敏速に開示してほしい。クリーンエネルギー自動車が寒冷地に適しているか。安全性及び環境にやさしいか。個人事業所むけより企業事業所むけアンケートに感じました。少しでも協力できればと考え回答させていただきました。
当社でも企業理念である、「衣料仕上機械の製造で世界の発展に貢献する」を実現する為に、脱炭素型機器を国の助成金をもらい研究開発しております。原村でも自然環境と共生する為に、脱炭素の流れを進めるエネルギー開発を一緒にしていきたいです。
現在の課題は「環境問題」ではなく、環境の変化に「人間がどう適応して、コミュニティとして共に生き延びていくか」だと考えています。その意味で具体的なエネルギー政策に加えて、村民のコミュニティをさらに育む施策や場が必要だと思います
豊かな自然環境があるので、森林、河川、温泉などを活かして、村としてエネルギー自給の道を考えて欲しいです。1村1自然エネルギープロジェクトなどについても、村民がもっと参加しやすいプロジェクトも考えて実施して欲しいです。
森林の保護とZEH.ZEBクリーンエネルギー自動車促進支援によってCO2削減に貢献して、学校や公共施設へのエアコン設置と情報発信によって熱中症対策を行う。これからの活動に対し寄付金を募り寄付に対して控除を行う。
2年後にフィルムタイプの太陽光発電装置が発売されるTVで知りました。現在の太陽光パネルと同等の15%の変換率があるとのこと。いずれ村道にアーケードを設け、そこで発電ということになるかも。
官民との共同対策が必要と思う。空き家を断熱リフォームして再生可能エネルギーを使った貸家とする。強風などによつての倒木を速やかに処理を行う……ペレット処理。
このまま温暖化が進むと原村でもエアコンが必要になる標高の範囲が広がっていく可能性が高い。原村の豊かな自然を生かした温暖化対策をもっと進めるべきだと考えます（水の利用、植物の利用）

平均気温が上昇した影響がQ15の課題とする項目にどのように現れているか、データを調べ具体的にすることを大切と思う。不安をあおる様な取り組みに感じています。
原村の美しい山林、自然を大切にする。農業をもっと大切にする。自然、有機農業への転換をして、食の安全、環境保全を図り温暖化対策につなげる。
ビジョンの作成 DX 活用による効率化、見える化、を徹底的に進める。村だけで出来ないことは、民間や、外部との連携による、効果的推進。
村全体で取り組める方法を。今回のアンケートが行政にプラス材料となって前進する事を期待しています。先送りしない。
豊かな森林を守っていききたい。街路樹を積極的に植樹し、アルファルトを温めず、涼しい村を目指したいと考える。
問い14でも記載した通り、難しい課題ですが、そのうえで積極的に人工設備の導入もするべきだと思います。
役場等の公共施設の電気を再生可能エネルギーで賄う。個人的にはミニ発電を設置できないかなと考えてます。
エネルギーのマイクログリッドとの組み合わせ（小型の水力発電、上水道水力発電、地熱発電等）の推進。
当事業所は本社の環境関連部署の支持に従っています。質問事項は本社へ問い合わせ願います。
他者の考え方を知りたいので、アンケートの経緯と今後の具体的計画を広報してほしい。
温泉熱を利用したい育苗ハウスの設営。苗を安価にして販売する（農家の光熱費削減）
一般家庭のみならず、事業所へも、ソーラー設備や蓄電池などへの補助をして欲しい。
水、太陽光は景観等の理由あり設置が難しい。風が強い事から、風力発電はどうか。
原村として、何が一番必要なのかをきちんと考えて時流されない村政を望む。
建物の断熱能力の重要性を広く周知し対策を取れるようにしてほしい。
ソーラー等の蓄電池の補助をして欲しい。
森林の保全について統一的な取り組みを！
植林活動の向上、八ヶ岳の自然を残す。
原村に限らず、全体的に意識が低い。
環境教育と植樹の促進が重要。
車社会からの脱皮。
自然を生かす。

【削除記載】※空欄回答と見なす

特に無し

以上